

「読むこと」（文学的文章）学習指導案

第3学年国語科学習指導案

1 単元名 恋する和歌集

「万葉・古今・新古今」（新しい国語3 東京書籍）

2 単元について

本単元は、古典教材の和歌を通して、伝統と文化を学び、今後国際社会に生きていくであろう生徒の日本人としてのアイデンティティを確立し、生徒の資質と感性を高めることを目標としている。本題材では、和歌のリズムを味わうとともに、短い言葉の中に凝縮された一つ一つの心情を読み取っていく。また、「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」という三つの歌集を比較することで、時代とともに作風や表現が変化していることを捉えるとともに、時代の変化の中でも変わらない人間の本質的な部分を、受け継がれてきた和歌の中から感じ取っていききたい。本単元は学習指導要領の〔知識及び技能〕における「（3）ア 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむこと。」及び、〔思考力、判断力、表現力等〕における「C 読むこと」の指導事項「イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。」に重点を置き指導を行う。指導を行う上で、自身の経験や知識を踏まえながら作品を鑑賞し、心情面の表現の豊かさに気づかせていく。また、和歌の中の言葉の意味を調べ、絵を描かせることで、情景をイメージしやすくさせる。そして、三つの歌集の比較や現代の短歌との対比を通して、時代による変化や不変的な心情を考えさせる。

3 単元の目標

・歴史的背景などを踏まえて古典を読み、世界観を理解することができる。

【知識及び技能】

・和歌を自身の考えと照らし合わせ、批判的に読みながら、歌人の心情や思いについて考えることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

・歴史的な背景や和歌の内容、自身の考えをうまく組み合わせながら、和歌に込められた思いを読み解こうとしている。

【学びに向かう力、人間性等】

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・歴史的背景などを踏まえて古典を読み、世界観を理解している。（3）ア	・和歌を自身の考えと照らし合わせ、批判的に読みながら、歌人の心情や思いについて考えている。 C（1）イ	・歴史的な背景や和歌の内容、自身の考えをうまく組み合わせながら、和歌に込められた思いを読み解こうとしている。

5 単元の学習指導計画（全3時間）

- (1) 現代の短歌を鑑賞し、表現の工夫や込められた心情を考える。（習得） 1時間
 (2) 恋についての和歌を読み比べ、表現の工夫や込められた心情を考える。（活用）
 1時間(本時)
 (3) 三つの歌集の比較や現代の短歌との比較を通しての鑑賞文を書く。（活用） 1時間

6 本時の学習指導

(1) 目標

- ・心情面に着目して五つの和歌を比較する活動を通して、自身の思いを踏まえながら和歌に込められた思いを理解することができる。

(2) 学習指導過程

学習内容・学習活動	予想される生徒の反応	教師の支援
1 前時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・前回は現代の短歌で鑑賞のポイントを学んだな。 ・全て恋の歌ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞する際のポイントとなど見方を確認させる。 ・全体で音読し、リズムを味わわせる。
2 五つの和歌を示し、学習課題を確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 【学習課題】 一番思いが強く表れている和歌はどれだろう。 </div>	
3 学習課題についての考えをまとめる。 (1) 五つの和歌で順位づけを行い、理由を書く。 (2) 班で意見交流し、ボードにまとめる。 (3) 全体で意見を確認し、もう一度意見を記述させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・Dは「絶えなば絶えね」という強い口調で言っているから一番思いが強いものだ。 ・Eの和歌は恋人を宝石のようにたとえている。自分なら思いつかないくらいの思いの強さだ。 ・Bはうたた寝の一瞬の夢ですら頼りにするという意味だとすれば結構思いが強そうだ。 ・Aは「秋風」の少し肌寒さを感じさせる情景が切なさを際立たせているな。 ・現代の短歌も昔の和歌も、表現技法など様々な工夫をしながら心情をうまく歌い上げているものが多いな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代語訳や和歌に使われている言葉に注目させ、理由を考えさせる。 ・見方・考え方カードを使い、視点の参考にするように伝える。 ・「たのみそめてき」「あかでも」といった心情面の表現に注目し、「もし自分なら」という視点で考えさせる。 ・現代との共通点、相違点を考えさせる。 ・それぞれの表現の良さを発表させる。 ・前時に鑑賞した現代の短歌と比較して感じたことも参考にしながら、和歌における心情面の表現の工夫や、鑑賞して感じたことを振り返らせる。
4 本時の振り返りを行う。		

(3) 評価

- ・自身の思いを踏まえながら意見を考え、和歌に込められた思いを理解することができたか。(観察、ワークシート)